

平成29年10月入学 広島市立大学大学院 情報科学研究科博士後期課程 学生募集要項

一般入試

社会人特別入試

目 次

| | | |
|----|---|---|
| 1 | 情報科学研究科（博士後期課程）の概要 | 2 |
| 2 | 募集人員及び試験会場 | 3 |
| 3 | 出願資格 | 3 |
| 4 | 出願手続 | 3 |
| 5 | 「東日本大震災」、「広島市における平成26年8月豪雨」 又は「熊本地震」で被災した志願者への特例措置 | 5 |
| 6 | 受験上及び修学上の配慮を希望する者との事前 相談 | 5 |
| 7 | 個人情報の取扱い | 6 |
| 8 | 入学者選抜方法 | 6 |
| 9 | 合格者発表 | 7 |
| 10 | 入学手続 | 7 |
| 11 | 納付金等 | 8 |

研究分野 9

試験会場案内 11

本学所定様式

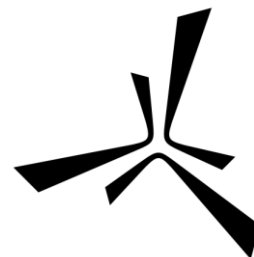
（以下の出願書類は、別途ダウンロードしてください。）

[A票] 入学志願票

[B票] 履歴票

[C票] 受験票・写真票・入学検定料振込証明書貼付票

入学検定料振込依頼書



Hiroshima City University

発行：平成29年6月

1 情報科学研究科(博士後期課程)の概要

(1) アドミッション・ポリシー

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材を育成します。さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成します。

この目標とする人材を育成するため、次のような人の入学を求めています。

- ・ 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- ・ 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
- ・ 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

情報科学研究科では次のような人を求めています。

- ・ 情報科学に関する学理の探究と、科学技術の発展に関心がある人
- ・ 自ら進んで問題に取り組み、その成果を社会に還元する意欲がある人
- ・ 情報科学の探求に必要な数理的・科学的思考ができる人

(2) 専攻の概要

専攻は、情報工学系、知能情報科学系、システム科学系、医用情報科学系の4系から構成され、以下のような教育・研究を行っています。

- ・ 情報工学系：次世代の情報科学の技術的基礎となるハードウェア・ソフトウェア開発やネットワーク工学の教育・研究
- ・ 知能情報科学系：人間の知的活動の原理を解明し、情報処理の高度知能化や人間とコンピュータの協調を目指した教育・研究
- ・ システム科学系：複雑化・巨大化するコンピュータシステムの統合技術や計測・制御技術の専門的分野の教育・研究
- ・ 医用情報科学系：情報科学および医用生体工学に関連する学際融合分野における専門的教育・研究

(3) 授与する学位の種類

博士後期課程では、博士論文の内容により、「博士（情報科学）」又は「博士（情報工学）」のいずれかになります。

(4) 修業年限

博士後期課程の修業年限は3年間とします。ただし、優れた研究業績をあげた者については、1年以上の在学をもって修了を認めることがあります。

(5) 長期履修学生制度

博士後期課程の修業年限は上記のとおり3年間ですが、入学後の申請により「長期履修学生」として認められた場合は、修業年限を延長して入学時から4年間、5年間又は6年間で計画的に教育課程を履修することができるようになります。この場合、正規の修業年限である3年間分の授業料を、4年間、5年間又は6年間で納入することとなるため、「長期履修学生」となったことによって納入すべき授業料の総額が増加することはありません。

「長期履修学生」の申請ができるのは、原則として社会人特別入試により入学した者に限ります。

2 募集人員及び試験会場

| 専攻 | 募集人員 | | 試験会場 |
|--------|------|---------|--------|
| | 一般入試 | 社会人特別入試 | |
| 情報科学専攻 | 若干名 | 若干名 | 広島市立大学 |

3 出願資格

(1) 一般入試

次の各号のいずれかに該当する者（①～④については、平成29年9月30日までに取得見込みの者を含む）

- ① 修士の学位を有する者
- ② 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ④ 我が国において、外国の大学の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 大学を卒業し又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同程度の学力があると認めたもの
- ⑥ 外国の大学において教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有するものと同程度の学力があると認めたもの
- ⑦ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同程度の学力があると認めた者で、平成29年9月30日までに24歳に達する者
- ⑧ その他本学大学院において、修士の学位を有する者と同程度の学力があると認めた者

(2) 社会人特別入試

一般入試の出願資格の①から⑦までのいずれかに該当し、教育機関又は、研究機関・官公庁・企業等において、平成29年9月30日で通算して2年以上の勤務経験を有する者

(3) 事前審査

出願資格⑤～⑧のいずれかにより出願を希望する者については、期限までに本学事務局入試グループに出願資格及び出願手続を照会してください。

【照会期限】平成29年6月21日（水）午後5時必着

4 出願手続

(1) 出願期間

平成29年7月18日（火）から平成29年7月21日（金）午後5時まで

郵送による出願書類の提出については、**平成29年7月20日（木）までの消印がある書留速達**に限り、期限を過ぎて到着したものも受け付けます。

(2) 出願方法

出願書類等を一括して**角形2号の封筒に入れ**、郵送又は持参の方法により、出願期間内に本学事務局入試グループに提出してください。郵送の場合は**書留速達郵便**とし、封筒には「**大学院入学試験出願書類在中**」と赤字で記載してください。持参の場合、受付場所は本学事務局入試グループ（本部棟2階）です。受付時間は、午前9時から午後5時までです。

(3) 出願先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
広島市立大学事務局入試グループ
電話 082-830-1503
E-mail nyushi@office.hiroshima-cu.ac.jp

(4) 出願書類等

| 出願に必要な書類等 | | 作成方法等 |
|-----------|--------------------|---|
| ① | 入学志願票 [A票] | 本学所定の様式に必要事項を記入してください。 記入にあたっては、欄外に記載した「 記入上の注意 」をよく読んでください。 |
| ② | 履歴票 [B票] | 本学所定の様式に必要事項を記入してください。 記入にあたっては、欄外に記載した「 記入上の注意 」をよく読んでください。 |
| ③ | 受験票 | 本学所定の様式に必要事項を記入してください。 |
| ④ | 写真票 | 本学所定の様式に必要事項を記入してください。上半身、無帽、正面向き、背景なしの出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの写真の裏面に氏名を記入し、のり付けしてください。 |
| ⑤ | 入学検定料振込証明書貼付票 [C票] | 入学検定料 30,000 円 を、本学所定の振込依頼書により金融機関の窓口で振り込んでください。ATM(現金自動預払機)は使用できません。振込後、「入学検定料振込証明書」(金融機関の出納印のあるもの)を本学所定の様式の「入学検定料振込証明書貼付票」に貼り付けて提出してください。 なお、ゆうちょ銀行又は郵便局を利用される場合は、通帳及び印鑑(届印)が必要です。現金による振込はできません。また、本学の振込依頼書と合わせてゆうちょ銀行所定の振込依頼書への記入が必要となります。 ただし、 平成 29 年 9 月に本学大学院情報科学研究科博士前期課程を修了し、引き続き本研究科博士後期課程に進学する者は、入学検定料は不要です。 |
| ⑥ | 学部成績証明書 | 出身大学(学部)長等が作成し、 厳封 したものを提出してください。(本学の在籍者が出願する場合、厳封の必要はありません。) |
| ⑦ | 大学院成績証明書 | 出身大学(研究科)長等が作成し、 厳封 したものを提出してください。(本学の在籍者が出願する場合、厳封の必要はありません。) |
| ⑧ | 修了(見込)証明書 | 最終出身大学(研究科)長等が作成したものを提出してください。 |
| ⑨ | 修士の学位論文等 | 修士学位論文又はその他の発表論文等がある場合には、論文リスト及び主要論文の写しを添付してください。 ただし、修士学位論文がない場合には、業績リスト(著書、論文等)を添付してください。 |
| ⑩ | 研究計画書 | A4判2枚程度にまとめてください。 |
| ⑪ | 返信用封筒 | 受験票送付用の定形封筒(長形3号, 23.5cm×12cm)に郵便番号、住所、氏名を明記し、 82円分の切手を貼付 してください。 |

(注) 1 ①から⑤([A票]から[C票])の様式及び入学検定料振込依頼書は、本学ウェブサイトから所定のPDFファイルをダウンロードし、印刷して使用してください。

様式及び入学検定料振込依頼書の印刷ができない場合は、広島市立大学事務局入試グループに請求してください。

2 特別な事情により成績証明書等の提出ができない場合は、これにかわる書類を提出してください。

(1) 学部：大学改革支援・学位授与機構(旧大学評価・学位授与機構)から学士の学位を授与された場合は、短期大学成績証明書、専攻科・大学各成績(学位修得)証明書及び大学改革支援・学位授与機構(旧大学評価・学位授与機構)の学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書等。

(2) 研究科：外国の大学院修了の場合は、成績証明書・修了証書の写し等。

3 出願書類のうち、外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。

(5) 入学検定料の免除

広島市内の者で、入学検定料の納付が著しく困難であると認められる場合は、これを免除します。事前に本学事務局入試グループに相談し、期限までに申請してください。

(注)「広島市内の者」とは、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- 1 平成 28 年 10 月 1 日以前から引き続き広島市内に住所を有する者
- 2 配偶者又は 1 親等の親族が平成 28 年 10 月 1 日以前から引き続き広島市内に住所を有する者

〔申請期限〕 平成 29 年 6 月 30 日（金）午後 5 時必着

(6) 出願上の注意事項

- ① 本試験に出願する者は、本研究科が 8 月に実施する平成 30 年 4 月入学にかかる入学者選抜試験には出願できません。
- ② 必要な書類がそろっていない場合には受付できませんので、出願の際には十分確認してください。
- ③ 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、本学事務局入試グループまで連絡してください。
- ④ **いったん受理した出願書類及び入学検定料は返還しません。**
- ⑤ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑥ **出願にあたり、志望する研究分野及び指導教員の選択については、下記を通して希望する指導教員まで必ず問い合わせてください。**

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号
広島市立大学事務局入試グループ
電話 082-830-1503
E-mail nyushi@office.hiroshima-cu.ac.jp

5 「東日本大震災」、「広島市における平成 26 年 8 月豪雨」又は「熊本地震」で被災した志願者への特例措置

これらの災害で被災した志願者については、出願後の申請により入学検定料を返還します（出願時には入学検定料の振込が必要です）。また、合格者については、申請により入学料の減免を受けることができます。

申請手続には本学所定の申請書及び事実を証する書類を要します。詳細については、入試グループまでお問い合わせいただくか又は本学ウェブサイトをご覧ください。

なお、入学検定料の返還については受験票送付時に、入学料の減免については入学手続書類送付時に特例措置についてのご案内を同封します。

6 受験上及び修学上の配慮を希望する者との事前相談

障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、下記の事項を記載した申請書を作成し、本学事務局入試グループに相談してください。

申請書の様式は申出によりお渡しします。

〔申請書記載内容〕

- ① 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号
- ② 志望研究分野等
- ③ 障害等の種類・程度（医師の診断書又は障害者手帳（写）を添付）
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 日常生活の状況

〔申請期限〕 平成 29 年 6 月 30 日（金）午後 5 時必着

7 個人情報の取扱い

出願書類等に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別その他の個人情報等）は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。

また、入学者についての同情報は、教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請、授業料免除申請等）業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。

上記業務の一部は、個人情報について適正な管理のための必要な措置を講じた上で、外部の業者に委託する場合があります。

8 入学者選抜方法

(1) 一般入試

① 学力検査等実施日時

| 月 日 (曜) | 専 攻 | 時 間 割 | | |
|----------|--------|-------|-------|-------|
| | | 9:00 | 12:30 | 14:00 |
| 8月21日(月) | 情報科学専攻 | | 筆記試験 | |
| 8月22日(火) | | 口述試験 | | |

※口述試験は時間割の範囲内で実施します。開始時刻は別途通知します。

② 学力検査等内容及び配点・評価基準

| 試験科目（配点等） | 学力検査等内容・評価基準 |
|----------------------|--|
| 筆記試験 〔専門科目〕（100点） | 志望する研究分野を中心に出题し、その分野に関する専門的知識の理解度や思考力を評価します。 |
| 口述試験 （ABCDの4段階評価） | これまでの研究成果やこれからの研究計画についてのプレゼンテーション(※)を課し、これらに関する試問を行います。 大学院入学の動機・意欲、研究能力、専門分野に関する学力、自己表現力について評価します。 |

(※) プレゼンテーションにおいて使用する機器及び時間については、希望する指導教員に問い合わせてください。

③ 筆記試験の免除

出願書類などから判断して、筆記試験を免除することがあります。

筆記試験を免除する場合は、期限までに志願者本人へ郵送で通知しますので、筆記試験を免除された者は、口述試験から受験してください。

【通知期限】 平成29年8月14日(月)

④ 合否判定基準

合否判定は、筆記試験の成績、口述試験の成績及び出願書類を総合して行います。

⑤ 受験上の注意事項

ア 受験者は、試験開始30分前までに指定された試験室に入室してください。

イ 筆記試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長は行いません。

ウ 口述試験開始時刻に受験者控室に在室していない場合は、欠席したものとして取り扱います。

(2) 社会人特別入試

① 学力検査等実施日時

| 月 日 (曜) | 専 攻 | 時 間 割 | |
|----------|--------|-------|-------|
| | | 9:00 | 12:30 |
| 8月22日(火) | 情報科学専攻 | | 口述試験 |

※口述試験は時間割の範囲内で実施します。開始時刻は別途通知します。

② 学力検査等内容及び配点・評価基準

| 試験科目 (配点等) | 学力検査等内容・評価基準 |
|----------------------|--|
| 口述試験 (ABCDの4段階評価) | これまでの研究成果やこれからの研究計画についてのプレゼンテーション(※)を課し、これらに関する試問を行います。 大学院入学の動機・意欲、研究能力、専門分野に関する学力、自己表現力について評価します。 |

(※) プレゼンテーションにおいて使用する機器及び時間については、希望する指導教員に問い合わせてください。

③ 合否判定基準

合否判定は、口述試験の成績及び出願書類を総合して行います。

④ 受験上の注意事項

ア 受験者は、試験開始30分前までに指定された受験者控室に入室してください。

イ 口述試験開始時刻に受験者控室に在室していない場合は、欠席したものと取り扱います。

9 合格者発表

平成29年8月29日(火) 午前10時

本学の本部棟前掲示板に合格者の受験番号を掲示し、合格者に合格通知書を送付します。

また、本学のウェブサイト(<http://www.hiroshima-cu.ac.jp/>)でも合格者の受験番号を掲載しますが、参考情報ですので、本学掲示板又は合格者に送付する合格通知書で正式に確認してください。

なお、電話、郵便等による問い合わせには応じません。

10 入学手続

(1) 入学手続期間

平成29年9月4日(月)から平成29年9月8日(金)まで(最終日は午後5時必着)

(2) 入学手続方法

① 入学手続に必要な書類等は、合格通知書と併せて直接本人に送付します。

② 入学手続は、郵送又は持参の方法により行ってください。

郵送による場合は、必ず**書留速達郵便**とし、封筒に「**入学手続書類在中**」と赤字で記載のうえ、**入学手続期間内に必着**するよう送付してください。

持参の場合、受付場所は本学事務局入試グループ(本部棟2階)です。受付時間は、午前9時から午後5時までです。

③ 入学手続を完了した者には、入学手続期間終了後、入学許可書を送付します。

(3) 提出書類

① 本学の受験票

② 誓約書(本学所定の様式)

③ 保証書(本学所定の様式)

④ 写真1枚(上半身、無帽、正面向き、背景なしで最近3か月以内に撮影した「縦4cm×横3cm」のもの。裏面に合格した研究科名及び氏名を記入してください。)

⑤ 住民票の写し(8ページ「11 納付金等」の入学料が「広島市内の者」に該当する場合のみ、その証明として必要になります。合格者本人が広島市内の者である場合は、本人分のみの住民票の写しを用意してください。その他の場合については、合格通知書と併せて送付する提出書類に関する通知をお読みください。)

(4) 入学手続先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
広島市立大学事務局入試グループ
電話 082-830-1503

(5) 入学手続上の注意

- ① 期間内に手続きを行わなかった者については、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 必要な書類がすべてそろっていない場合には受付できませんので、書類の提出の際には、十分確認してください。
- ③ **いったん受理した入学手続書類及び入学料は返還しません。**
- ④ **修了見込みで出願した者は、修了後、速やかに修了証明書を提出しなければなりません。**

11 納付金等

(1) 入学手続までに納付するもの

| 区 分 | | 金 額 |
|-------|-----------|-----------|
| 入 学 料 | 広島市内の者（注） | 282,000 円 |
| | 上記以外の者 | 423,000 円 |

※ 平成 29 年 9 月に本学大学院情報科学研究科博士前期課程を修了し、引き続き本研究科博士後期課程に進学する者は、入学料は不要です。

金額は、平成 29 年 4 月現在の金額です。

(注)「広島市内の者」とは、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- 1 平成 28 年 10 月 1 日以前から引き続き広島市内に住所を有する者
- 2 配偶者又は 1 親等の親族が平成 28 年 10 月 1 日以前から引き続き広島市内に住所を有する者

(2) 入学後に納付するもの

| 区 分 | 金 額 | 納付時期 |
|----------------------|-----------|---------|
| 授業料（年額 535,800 円）（注） | 267,900 円 | 4 月末まで |
| | 267,900 円 | 10 月末まで |

(注) 1 金額は、平成 29 年 4 月現在の金額です。

2 改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される予定です。

3 「長期履修学生」の授業料（年額）は、修業年限に相当する授業料の総額を、長期履修期間の年数で除して得た額になります（「長期履修学生」については 2 ページを参照）。

(3) 入学料・授業料の減免等

① 入学料の減免

次のいずれかに該当し、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の減免を受けることができます。入学手続までにご相談ください。

ア 入学前1年以内に、学資を主として負担している者が死亡した場合

イ 入学前1年以内に、入学する者又は学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

ウ 入学する者が広島市内の者であり、生活保護法の規定による保護を受けている世帯に属している場合

② 授業料の減免又は徴収猶予

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合には、授業料の減免又は徴収猶予を受けることができます。詳しくは、入学後の説明会でお知らせします。

研究分野

| 系 | 研究指導単位 | 指 導 内 容 | 担 当 教 員 | |
|-----------------------------|-------------------|--------------------------------|---------|---------|
| 情報工学系 | コンピュータ工学 | 論理回路・システムの設計と解析 | 教授 | ○若林真一 |
| | | リコンフィギャラブルシステムの設計と応用 | 教授 | ○弘中哲夫 |
| | | ディペンダブルコンピューティング | 教授 | ○井上智生 |
| | | 論理設計とスイッチング回路理論 | 教授 | ○永山忍 |
| | | VLSI設計自動化 | 准教授 | 市原英行 |
| | ネットワーク工学 | 通信サービス用ネットワークソフトウェアの設計 | 教授 | ○角田良明 |
| | | 通信サービスの高信頼化, 通信プロトコルの高度化 | 教授 | ○石田賢治 |
| | | ワイヤレスネットワークシステム | 教授 | ○西正博 |
| | | モバイルネットワーク | 准教授 | 大田知行 |
| | | ネットワークアーキテクチャと通信プロトコルの設計と応用 | 准教授 | 井上博之 |
| | | 自律分散制御のためのネットワークソフトウェア | 准教授 | 舟阪淳一 |
| | | 通信ネットワーク制御の設計および高度化 | 准教授 | 小畑博靖 |
| | ネットワークセキュリティ | 准教授 | 河野英太郎 | |
| | コミュニケーション基盤工学 | ネットワークアーキテクチャ設計及びマルチメディア通信応用 | 教授 | ○前田香織 |
| | | 大規模複雑ネットワークの分析と制御 | 准教授 | 高野知佐 |
| | | 光センサ, 放射線センサの基礎研究とセンサシステムの構築 | 准教授 | 田中公一 |
| 3D原子イメージング科学の先端センサ材料創成への応用 | | 准教授 | 八方直久 | |
| | 高信頼な無線通信方式と電波測位方式 | 准教授 | 高橋賢 | |
| 知能情報科学系 | 知能ソフトウェア | 教育支援システム及び感性工学における学習理論 | 教授 | ○松原行宏 |
| | | 教育・学習システムにおける知識表現モデルと知識獲得 | 准教授 | 岩根典之 |
| | | グラフ理論に基づくデータベースからの知識発見システム | 准教授 | 内田智之 |
| | | 知識発見における機械学習手法とグラフ理論の応用 | 准教授 | 宮原哲浩 |
| | | 多次元データベースとその応用 | 准教授 | 黒木進 |
| | | 並列コンピューティングとそのデータ工学への応用 | 准教授 | 田村慶一 |
| | | AR/VRを用いた学習支援手法およびシステム実装に関する研究 | 講師 | 岡本勝 |
| | 知能メディア | パターン情報に対する知識処理と機械学習 | 教授 | ○高橋健一** |
| | | 音声言語情報処理と自然言語処理 | 教授 | ○竹澤寿幸 |
| | | メディアとしての画像の処理と提示 | 教授 | ○日浦慎作 |
| | | 情報アクセスと言語処理 | 准教授 | 難波英嗣 |
| | | コンピュータグラフィックスのための画像理解 | 准教授 | 宮崎大輔 |
| | | 画像による3次元データモデリング | 准教授 | 古川亮 |
| | 高精細コンピュータグラフィックス | 講師 | 馬場雅志 | |
| | 知能サイエンス | 知的システムにおける知識表現と学習機構 | 教授 | ○高濱徹行 |
| | | 情報理論と情報統計力学 | 教授 | ○三村和史 |
| 生物的適応システムのモデル化とその工学的応用 | | 准教授 | 原章 | |
| 時系列データ解析へのノンパラメトリックベイズ解析の応用 | | 准教授 | 末松伸朗 | |
| 学習機械の確率的特性解析 | | 准教授 | 岩田一貴 | |
| ソフトコンピューティングに基づく最適化手法 | | 講師 | 串田淳一 | |

| 系 | 研究指導単位 | 指 導 内 容 | 担 当 教 員 | |
|---------|-------------|---------------------------------|---------|---------|
| システム科学系 | 人間・ロボット共生 | 動的システムのモデリングと制御 | 教授 | ○小林康秀* |
| | | モーションメディア流通技術とコミュニケーションロボットへの応用 | 教授 | ○岩城 敏 |
| | | 確率制御理論とその応用 | 教授 | ○田中輝雄 |
| | | ロボットビジョンおよびマンマシンインターフェース | 教授 | ○李 仕剛 |
| | | インテリジェント制御システムの設計 | 准教授 | 小 寄 貴 弘 |
| | | 人間-機械システムの設計と制御 | 准教授 | 小 野 貴 彦 |
| | | 人間の行動理解に基づく知能ロボットの研究 | 講 師 | 池 田 徹 志 |
| | インタフェースデザイン | 実時間組込みシステムの設計検証法及び最適化 | 教授 | ○中田明夫 |
| | | 通信・信号処理のための回路解析と合成 | 教授 | ○藤坂尚登 |
| | | サウンドデザインと快音化制御システムの構築 | 教授 | ○石光俊介 |
| | | 分散システムの高信頼化 | 准教授 | 島 和 之 |
| | | 進化的計算を利用した組込みシステムの最適化設計 | 准教授 | 村田佳洋 |
| | | 環境情報取得とその制御 | 准教授 | 福島 勝 |
| | | 量子情報理論を用いた通信理論および信号処理 | 准教授 | 桑田 精一 |
| 医用情報科学系 | | 計算機実験による金属タンパク質の機能発現機構の解明と応用 | 教授 | ○鷹野 優 |
| | | 人体の形態・機能に関する知識の計算機内表現による医用画像理解 | 教授 | ○増谷 佳孝 |
| | | マイクロマシンデバイスとその医用応用 | 教授 | ○式田 光宏 |
| | | 生体情報処理機構のシステムの解明とその工学的応用 | 教授 | ○樋脇 治 |
| | | 病気の診断に用いるバイオセンサーの開発 | 准教授 | 釘宮 章光 |
| | | 視覚情報処理の基本原則とその視覚情報計測技術への応用 | 准教授 | 中野 靖久 |
| | | コンピュータ支援診断のための医用画像処理 | 准教授 | 青山 正人 |
| | | 生体の脳機能に関する計算論的研究 | 准教授 | 福田 浩士 |

注1：担当教員及び指導内容は平成29年6月9日のものです。

注2：○印は主指導教員です。

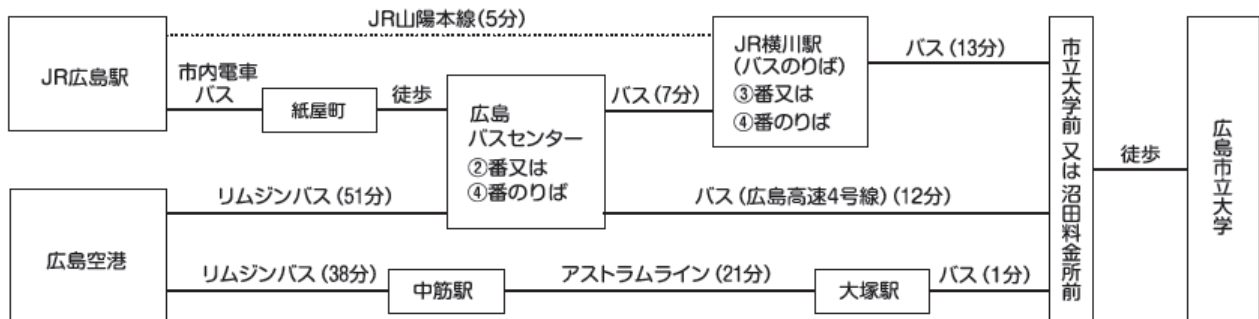
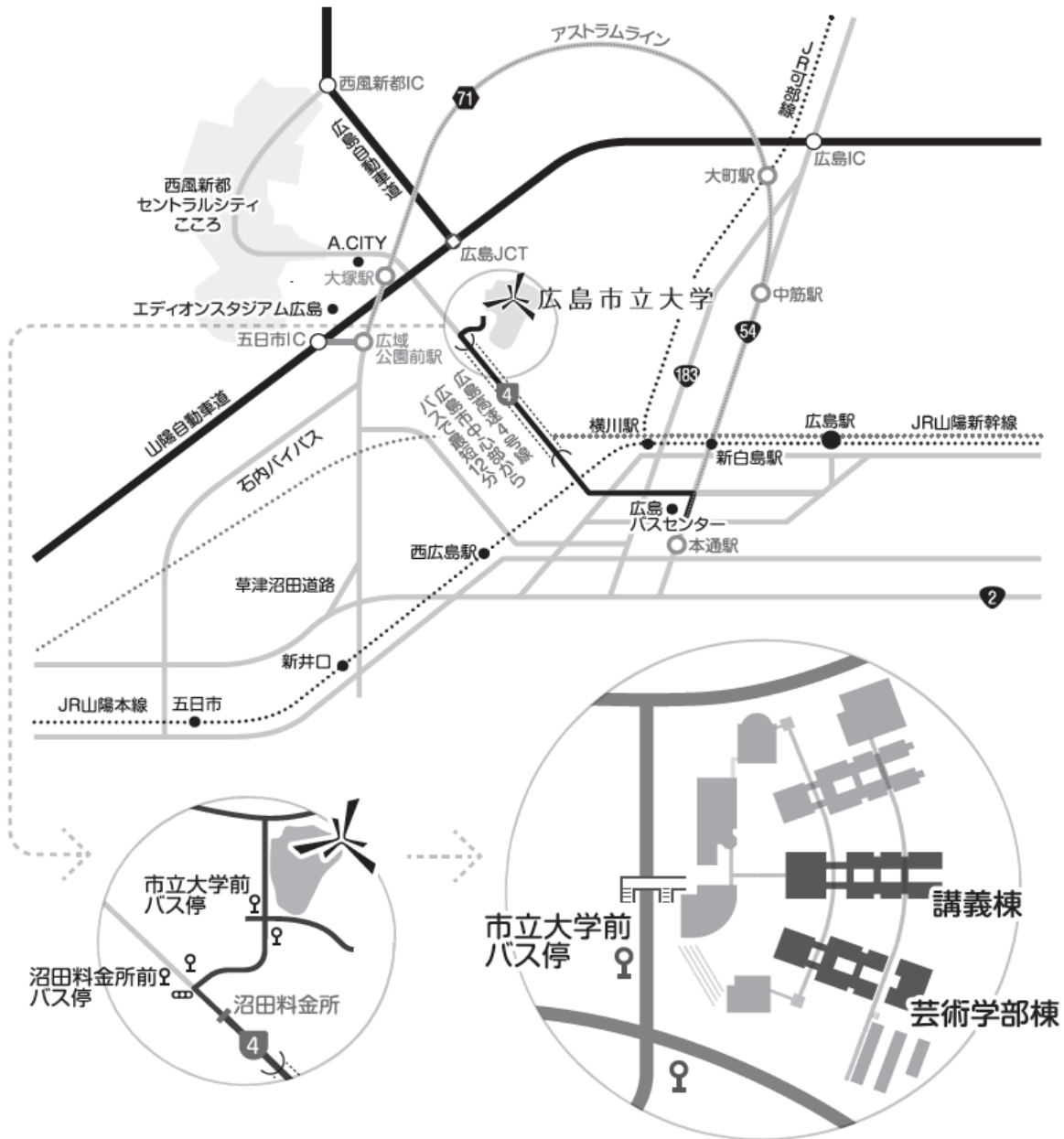
注3：*の教員は平成31年3月末で退職予定ですので、志望にあたり留意してください。

注4：**の教員は平成32年3月末で退職予定ですので、志望にあたり留意してください。

【社会人学生への配慮】

本研究科博士後期課程では、開講する科目を必要に応じて夜間に実施するなど、高度な専門の学術知識の修得を目指す社会人が在職のまま大学院へ進学し得るよう配慮します。

試験会場案内



※「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すぐ、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。

●所要時間は目安です。

●広島バスセンター発「くすの木台」・「沼田ループ右回り 広島駅」方面行きのバスは、「市立大学前」バス停を経由します。

広島バスセンター発横川駅経由「花の季台」・「こころ西風梅苑」・「こころ産業団地」・「こころ南」方面行きのバスには、

「市立大学前」バス停を経由する便としない便とがあります。「市立大学前」バス停を経由しない便では、「沼田料金所前」バス停で下車してください。